

特集

地デジ

テレビ放送は 大きな進化の時期を 迎えています

連日のようにテレビでは、地デジに関するお知らせが放送されており「地デジ」という言葉は浸透しましたが、具体的には何をどうしたらいいかわからないという人も多いのではないのでしょうか。

役場情報推進室には、毎日、地デジに関する問合せがあり、「地デジを見るにはどうしたらいいの?」、「地デジ用アンテナを立てたけれど、画面が固まったり、突然、真っ暗になってしまつた」、「うちの地区は地デジが映るの?」など、疑問や不安の声が寄せられています。

今回の特集では、地デジの基本的なこと、町としての取組み、「地域情報通信基盤整備推進事業 住民アンケート」の結果についてお知らせします。

町は
どんなことをするの??

地デジの
仕組みは?



地デジQ&A

2009 2010 2011



■アナログ放送では、周波数が近いと電波が干渉し混信して見えなくなってしまうので、周波数を変えて放送する中継局がたくさん必要になります。



なぜ、地上デジタル放送に移行するの？

地上テレビ放送のデジタル化により、ハイビジョンによる高画質・高品質な映像・音声サービス、その他の高度で多彩なサービスの提供が可能となります。

また、アナログ放送に比べ、電波を有効に活用することができます。そのため、地上デジタル放送への完全移行後には、それまで地上アナログテレビ放送に使っていた周波数の一部を、携帯電話や新たな無線サ-



いつ、地デジに移行するの？

サービスなどに利用することができません。周波数の混雑を緩和することができるだけでなく、関連産業への大きな経済波及効果も期待できます。

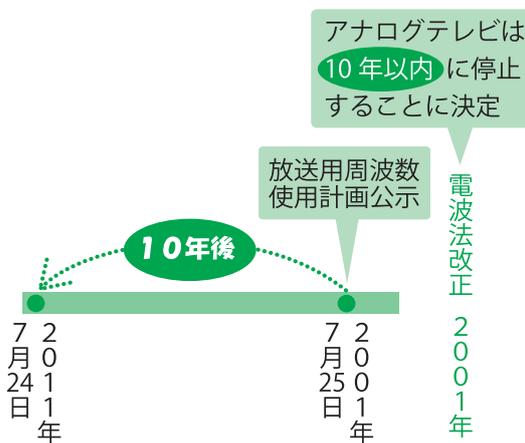
現在放送されている地上アナログ放送は、2011年(平成23年)7月24日までは、デジタル放送と並行して放送されます。しかし、その以降はデジタル放送のみとなってしまふので、従来のアナログテレビではチューナーなどを取り付けないと、そのままでは視聴することができません。



なぜ、2011年にアナログ放送が終了するの？

2001年(平成13年)の電波法の改正により、アナログテレビ放送による周波数の使用は10年以内に停止することになりました。これを踏まえて作成された放送用周波数使用計画(チャンネルプラン)など

では、その使用期限を2011年7月24日、つまり計画変更の公示日の2001年7月25日から起算して10年目の日と規定されました。これによりアナログ放送は2011年の7月24日までに終了することになりました。



地上デジタル放送は世界ではどのような状況ですか？

地上デジタル放送は1998年にイギリスでまず開始されました。現在は欧米ではアメリカやドイツ、イタリアなど、アジアでは韓国や台湾など、世界の20以上の国と地域で放送されており、デジタル放送は世界の潮流となっています。



悪質商法にご注意ください！

最近、テレビ調査人や工事人を名乗って不正請求を行ったり、郵便による振り込め詐欺(架空請求)を行ったりする例が全国各地で起きています。地デジに関する誤った情報や、不十分な情報に基づいて関連商品・サービス売りつける悪質商法にご注意ください。

地デジの相談窓口

地デジに関する総務省の相談窓口があります

ご不明な点は、お電話でご相談ください。



受付時間 平日 午前9時～午後9時
土日・祝日 午前9時～午後6時
■IP電話など、上記番号がつかない人は ☎03(4334)1111

高度情報化社会 どう考える？

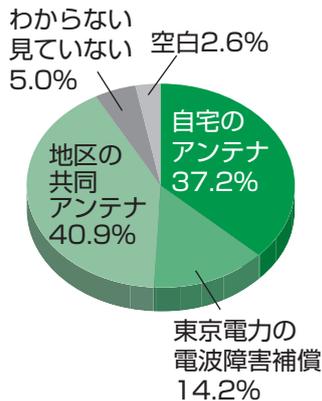


町では、地上デジタル放送への完全移行を2011年（平成23年）7月24日に控えて、高度情報化社会におけるこれからの町のあり方について検討を行い、地域情報化計画の策定（平成20年12月）を行うとともに地域情報通信基盤整備推進事業のニーズを調べるため、住民アンケート（平成20年12月17日から平成21年1月31日）を実施しました。おもな回答結果を、次のとおりお知らせします。

Qテレビの受信方法は？

テレビをどのような方法で受信しているかをお尋ねしています。

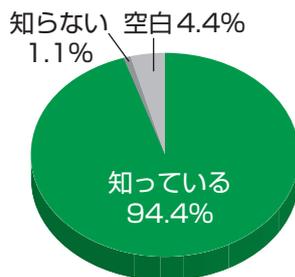
自宅のアンテナで受信している家庭の比率が37パーセント前後に止まっていて、ここ20年で共同受信施設が普及した本町の状況があらためて確認されます。



Q地上デジタル放送完全移行の認知度

地上デジタル放送への完全移行によって、アナログテレビでのテレビ視聴ができなくなることへの認知の状況をお尋ねしています。

全体で約95パーセントの人が知っており、PRの効果が上がっているものと推測されます。



住民アンケートの概略

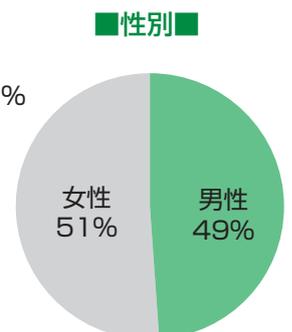
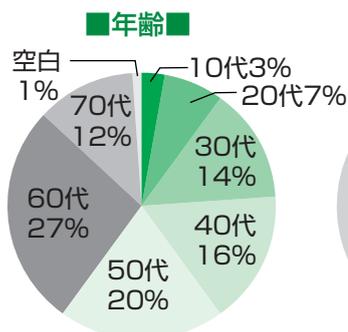
- 調査時期 平成20年12月17日から1月末まで
 - 調査方法 無作為抽出による標本調査
母集団／平成20年4月1日現在で本町住民基本台帳に登録されている16歳から80歳未満（人口3万6,773人、世帯数1万4,489世帯）
標本数／2,000人
 - 回答方法 郵送によるアンケート
 - 回答率 52.9パーセント（1,058人）
- ※平成21年2月6日現在

地域情報化に関する自由意見

■残念ながら一年を通じてニュースソースがあるような状況にはないと思われれます。その点が一番の問題かと考えます。（50代・男性）

■今まで情報は広報もろやまのみでしたが、テレビやネットによりタイムリーに届くと思います。イベントはもちろん道路工事の状況などもわかるととても助かります。（40代・女性）

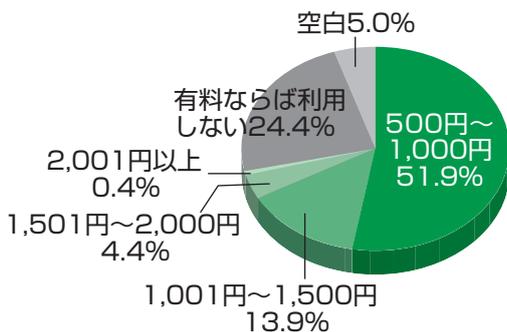
■防犯を含め、地域の情報伝達



Qケーブルテレビの許容される月額利用料

ケーブルテレビの月額利用料金の限度についてお尋ねしています。

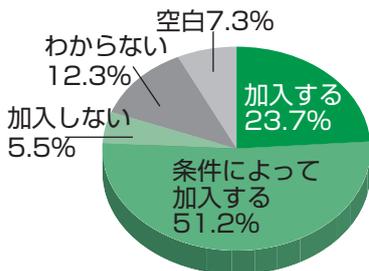
有料での利用を可とする人の合計は70.6パーセントとなりました。その一方、「有料ならば利用しない」と回答した人は、24.4パーセントでした。



Q町が関与する光情報通信基盤への参加の意向

町が全世帯を対象として情報通信基盤（光ファイバーやケーブルテレビなど）を整備した場合、加入するかどうかお尋ねしています。

「加入する」と「条件によって加入する」をあわせると、74.9パーセントの人が参加に向けて肯定的な意向を示しています。

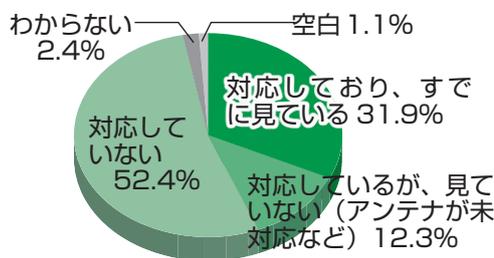


Q自宅での地上デジタルテレビ放送への対応状況

各家庭のテレビ視聴において、どの程度地上デジタル放送への対応が進んでいるか、対応状況をお尋ねしています。

「対応していない」が52.4パーセント、「対応しているが見ていない（アンテナが未対応）」の12.3パーセントを加えると64.7パーセントに達しています。

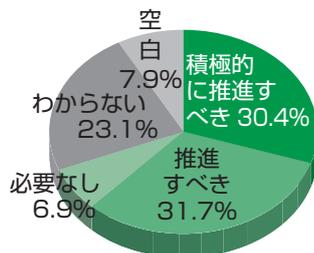
2年3か月後の完全移行を考えた場合、対応に関してさらに啓発を進めていく必要があると思われます。



Q光ファイバーによる地域情報通信基盤整備推進の町の考え方について

町が関与して地デジやインターネットなどの地域格差の是正を目的に、光ファイバーを利用した情報通信基盤整備を推進することについてお尋ねしています。

「積極的に推進すべき」と「推進すべきである」をあわせ、62パーセントの人が事業推進に肯定的な意向を示しています。



■居住している環境によって情報格差ができないようにお願いします。2011年問題は確実に周知できるようにお願いします。（50代・男性）

■情報化推進は結構なことなのですが、コストメリットが利用する側に出ないようなら推進の意味はないと思います。（40代・男性）

■地上デジタル放送の受信環境（自宅でアンテナを上げて映るのか）が最大の関心事です。（中略）自主放送は考えず、最低のランニングコストで済むインフラを望みます。（60代・男性）

■あまり費用がかからず快適な生活が送れるようにお願いいたします。全町民が平等にです。（40代・女性）

■毛呂山はテレビの映りがどこも悪いので、光ファイバー事業の推進は町政としても頑張ってもらいたいです。（20代・男性）

は毎日必ず手にするTVのリモコンでオン！そんな日が来ると、一人暮らしの方やいろいろな家庭の心強い味方になるのになあと思います。（50代・女性）

町の取組み



地域情報通信基盤整備推進事業がスタートします

アンケート結果などを基礎資料として検討し、町では次のような事業を行うことになりました。

『将来に向けて、町のどの地域からも多チャンネル放送(BS放送・CS放送)や自主放送、またインターネット、IP電話などの利用が可能となり、それらの一元的な管理も可能な状況を確立する』

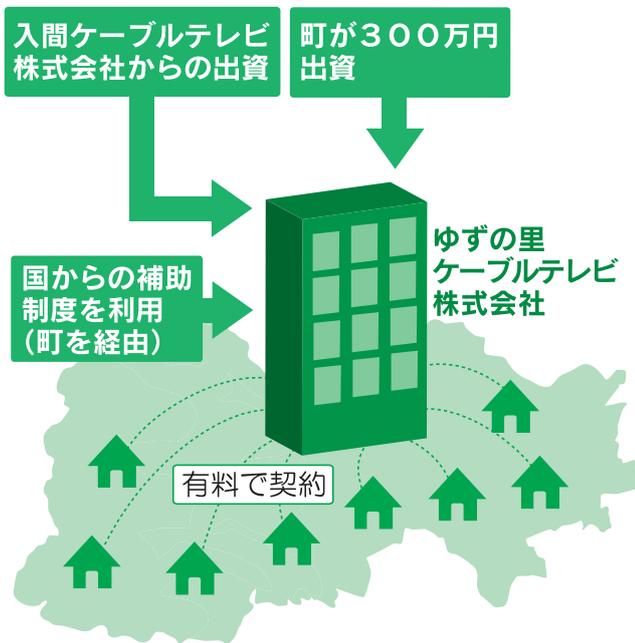
高度化が進む情報通信サービスを、住民全体が選択肢とすることを目指しています。



どのような手段で？

その手法は、入間ケーブルテレビ株式会社(※)が町内に設立するCATV会社(社名:ゆずの里ケーブルテレビ株式会社)に対し町が300万円を出資して参加し、国庫補助の利用を可能にするなどして、事業展開を側面から支援していくものです。

※入間ケーブルテレビ株式会社:現在東京電力の施設を管理し、入間市、瑞穂町(東京都)、東松山市においてCATV事業を展開している。



町のどの地域でも、高度なデジタル技術サービスが利用可能になります。



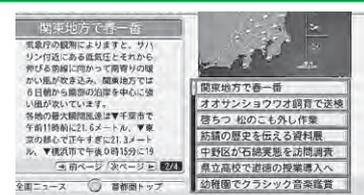
ますますサービスが充実し、誰もが情報化の恩恵を受けられます



■双方向サービスで番組に参加できます
ネットに接続した双方向サービスで、番組のクイズやアンケートに参加することができます。ショッピングも楽しめます(別途、通信回線料が必要になる場合があります)。



■高齢者や障害者へのサービスが充実します
字幕放送を楽しむことができ、番組によっては生放送にも対応します。また、音声速度が変えられ、声をゆっくりとしたスピードで聞くことができます。



■ニュースや天気予報がいつでも見られます
データ放送により、リモコンのボタンを押すだけで、ニュースや天気予報、交通情報、そのほか暮らしに役立つ情報などをいつでも見ることができます。

事業の計画は？

このサービスは町の区域を第1期、第2期、第3期……と分けて進められる予定です。加入金・工事費・月額利用料など、有料のサービスとなりますが、高度化が進む情報通信サービスの利用を、住民全体が選択肢とすることを目指しています。

何ができるの？

これにより毛呂山町では地上デジタル放送に対して、①自分でアンテナを立てて対応する、②地域の共同受信施設を利用する、③町全体を計画区域とするCATVを利用する、という三つの選択肢が確保されています。

詳しくは、ゆずの里ケーブルテレビ株式会社事務所（☎276-6300）までお問い合わせください。

なお、地域情報化計画の概要や地域情報通信基盤整備事業住民アンケートの結果については町ホームページ（<http://www.town.moroyama.saitama.jp>）および役場情報推進室（庁舎2階）をご覧ください。

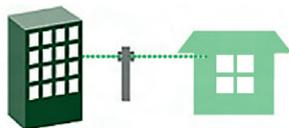
毛呂山町では、高度情報化社会の進展に対応するため、情報通信基盤整備を目指していきます。

役場情報推進室 ☎295-2211
12内線221



地デジを見るための3つの方法

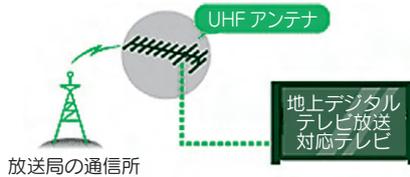
ケーブルテレビ・共聴組合で見ると



ケーブルテレビ局 共聴組合 加入者宅

UHFアンテナの設置は必要ありません。トランスモジュレーション方式、パススルー方式の2つの伝送方法があります。加入料、月額利用料が必要です。詳しくは、ケーブルテレビ会社、共聴組合にお問い合わせください。

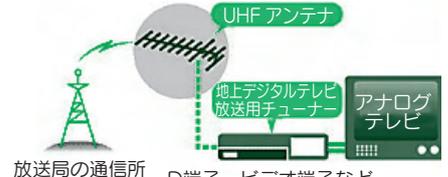
地デジ放送対応テレビで見ると



放送局の通信所

デジタルテレビに買い替える（地デジマークのついたテレビを購入。安いもので4万円～）、UHFアンテナを設置する（単体価格4,000円～、設置工事費5万円～）

アナログテレビをそのまま使う



放送局の通信所 D端子、ビデオ端子など

地上デジタルチューナーを買い足す（安いもので1万円～）、UHFアンテナを設置する（単体価格4,000円～、設置工事費5万円～）

デジタル機器、設置に関する料金はあくまで目安です。
詳しくはお近くの電気店へお問い合わせください。

地デジで放送サービスが高度に！

デジタル技術を使うとテレビがもっときれいに便利になります



■音声の劣化やゴーストがなくなります
アナログ放送では、映像・音声が劣化したり、高い建物などの影響でゴーストが起きますが、デジタル放送では、劣化やゴーストはなく高品質の映像・音声が届けられます。



■ハイビジョンで高画質・高音質になります
16:9のワイド画面、ハイビジョンの高画質、CD並みの高音質、その場にいるような臨場感と迫力の映像を楽しめます。



■携帯電話などで地デジが楽しめます
ワンセグにより、携帯電話やカーナビなどで地デジを見ることができます。とくに災害時でも避難経路や安否情報などが受信可能で、重要な情報端末となります。